

# 合併15周年を迎えて、さらなる成長に向けて

元号が平成から令和に変わった本年、美郷町は誕生から15年の節目を迎えました。町の節目が国の大きな節目と一緒になったことは偶然であるわけですが、そこに何らかの必然を見出すことで、この度の節目の意義がより深まるものと思います。偶然に隠れた必然の一端を、みなさんで探していきたいものです。

さて、何かが成長していくためには、すべてについて一定の条件があります。例えば、望ましい植物の生長には、内的には窒素、リン酸、カリウムの三栄養素が必要条件ですし、外的には温度、空気、水分の三要素が必要です。また、人間の成長ではどうかと言えば、物理的成長には炭水化物、タンパク質、脂質の三つの栄養素が必要ですし、心理的成長には経験、知識、思慮の三つの要素が必要不可欠ではないかと思えます。

では、自治体が成長する条件は何か、改めて

考えてみます。物理的には社会資本、各種制度、財源の三要素がバランスよく存在することが必要だろうと思えます。また、心理的には自治体への関心、地域づくりへの参加意志、郷土への誇りと愛着が必要ではないかと思うところではあります。そして、これら要素がバランス良く充実することが、自治体としての成長に繋がっていくように私は思っています。

美郷町は誕生以来15年間、めざす町の姿を俯瞰しながら、本号に記載のような各般の取り組みを重ねてまいりました。その結果、合併町として、一定の成長は遂げているものとは認識しております。しかし、社会構造の変化などを受け止めますと充分とは言えず、まだまだ、その可能性と必要性は求められているように思えます。

そのため、その方向をこの度の機会に見出す意味で、改めて美郷町の成長度合いをそれぞれ

れ総括していただくとともに、今後の取り組みが必要な部分、要素について考えていただきたいと思えます。私はその最大公約数的な部分が、今後の町づくりの指針になっていくように思っています。また、そうした姿勢での実践の積み重ねが、今後の美郷町にさらなる成長をもたらすと信じております。

世の中には三要素で整理されることが実に多くあります。美郷町も千畑、六郷、仙南の三つの地域です。今後も三つの地域が協調しながら、三要素を意識した美郷町らしい「心一つ」の歩みをめざしたいと思えます。この度の節目では、こうした認識もみなさんで確認し合い、全体として意義深い機会にしていきたいものです。



美郷町長

松田 知己





美郷町議会議長

## 澁谷 俊二

美郷町が誕生して15周年を迎えることができましたことは、町民の皆様のご理解とご協力の賜物と心から感謝を申し上げます。町民一人ひとりが地域に誇りと愛着をもち、魅力あるまちづくりの実現に向けた熱意の表れであり、深く敬意を表します。

振り返りますと、平成16年11月1日、産業構造など様々な分野で共通点を有する千畑町・六郷町・仙南村が県内でいち早く合併しました。合併後、初の町議会は、11月10日に旧2町1村の議員48人が出席し、現在の役場庁舎3階大会議室で開かれました。以来「開かれた議会」を合言葉とし、住民と議会との懇談会、議会だよりやホームページなど広報広聴の充実、一問一答による一般質問、報酬や議員定数を16名に削減するなど、議会運営改革に取り組んでまいりました。

また、松田町長の指揮のもと、地域に培われてきた豊かな資源を十分に生かしながら、まちづくりの将来像「いやしの郷・にぎわいの郷 豊かさを実感できるまち 美郷」として、新町全体の均衡ある発展を目指すし、美郷町総合計画が着実に推進されるよう、行政当局とは真摯に、かつ活発な議論を交わし、課題解決に取り組んでまいりました。

少子化が進展し労働力人口の減少とともに、おとずれる高齢化の波は、生活基盤を脅かすものと予想されますが、地域における連携や地域の持つ力が大切と考えます。

近年、これまでに経験のない大規模な豪雨や台風などの災害が各地で発生しており、今後も重大な災害が起こる可能性が非常に高まっています。一人ひとりが災害から身を守るための行動に繋がるよう、災害に強い安心・

安全なまちづくりの実現に一層努めてまいります。

本町は東京2020オリンピックのホストタウンとして、タイ・バドミントンシヨナルチームが事前キャンプを行います。これをきっかけとした教育交流協定締結により、中学生の相互訪問交流の実施は、国際感覚を育む貴重な体験として、これからの進路に活かしてほしいものです。

本年、合併15周年という記念すべき節目を迎え、町議会といたしましても未来に羽ばたく美郷町として、その役割と責任の重さを胸に刻みながら、住民福祉の向上に尽くしてまいりますので、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

# 未来に羽ばたく美郷町